

# RIETIシンポジウム 大学のガバナンスに関する 10の質問

総合科学技術会議 薬師寺泰蔵

# 1) 大学は社会システムの一つか、 集団活動の単なる制度か (大学の社会学的意味)

イ) 教授も学生も移動しないのがよいか  
(inbreeding)

ロ) 教授も学生も移動するのがよいか  
(non-inbreeding)

## 2) 大学は誰が創るのか (大学の設置形態)

- イ) 宣教師 (Divinity School, 同志社)
- ロ) 金持ち (Stanford)
- ハ) 国家、王、女王含む (Oxbridge, ANU)
- ニ) 時代の偉人 (慶應、早稲田)
- ホ) 地方自治体 (Land Grant College含む)
- ヘ) 企業、産業界 (Carnegie-Mellon)

# 3) 大学は誰のものか (大学の社会的存在)

## イ) 教授のもの

(教授は社会的地位を得るためか、教育・研究のためか)

## ロ) 学生のもの

(彼らは、生活をエンジョイするためか、  
生涯の友人を作るためか、よい企業に入りたいのか、  
地位ある役人、法曹人になるためか)

## ハ) 国家のもの

(予算を割り当てているためか、  
国家に役立つ人材を生産するためか)

# 4) 大学の序列 (ランキング) は 誰が決めるのか (大学の社会的地位)

イ) market

ロ) 国家

ハ) TIMEのような雑誌

ニ) accreditationの協会

ホ) 親族、塾の先生、高校の先生など

# 5) 大学は植物のように成長し、 枯れるものか、あるいは単なる人工物か(大 学の永続性)

イ) 企業のように成長し没落するもの

(財務マネジメントの必要性、学長は指名されるCEO)

ロ) 優秀な学生が入れば生命が持続される

(企業秘密としてのプレステージ維持のノウハウ)

ハ) 動かない堅固な牙城

(経営マネジメント無用、学長は選挙で選ぶ)

ニ) 水を与えて枯れない措置

(ドイツのエリート校選択)

## 6) 大学は投資対象になりうるか (大学の財政基盤と投資効果の測定は可能か)

イ) 国家投資

(給与に関する費用便益分析は可能か)

ロ) クライアント

(学生納付金)

ハ) 寄付

(ドナーは卒業生か、非卒業生、企業か)

# 7) 大学は国境を越えるか (大学の国際化)

イ) 国内の人々(教授、学生)中心がよい

ロ) 外国の人々と混在するのがよい



# 8) 大学に行かなくても 豊かな生活ができるか (大学の相対優位性)

イ) できる(社会的技術を学ぶため)

ロ) できない(知を学ぶためだけ)

ハ) 関係ない

(松下幸之助やドイツの職工学校出身でも豊かな生活可能)

# 9) 大学は何をするところか (大学の機能)

イ) 知を伝授

ロ) 人材を社会に供給

ハ) 研究活動

ニ) 企業にイノベーション・シーズを供給

ホ) 生涯の友人をつくる

ヘ) 将来の地位を得る

# 10) 大学間の秩序は 自然に遷移するか、デザインするものか (国際政治とのアナロジー)

イ) 覇権安定型秩序 (旧国立大学)

ロ) 勢力均衡型秩序

(カリフォルニア大学システム)

ハ) 相互依存型

(連合大学院、早稲田と筑波の連携、  
コーネルとSUNY)

ニ) 国民国家型

(ドイツの大学、独法後の日本の国立大学)